

5. こころの病の方々と共に地域で暮らす

精神保健福祉ボランティアグループ「ゆうあい」

住吉 富美子

(1) 活動の目的

私たち、精神保健福祉ボランティアグループ「ゆうあい」は、志木市で精神障がい者や引きこもりの方々が社会との関わりをより多く持てる場をつくりたいと、一昨年「NPO 志木市精神保健福祉をすすめる会」のボランティア 2 人で会の援助を受けて月一回の交流会をすることから始まり、翌年平成 22 年 4 月にボランティア 6 名で独立してグループを作りました。

活動は、主に家からなかなか出られない方々がはじめの一步として外出できる場とする事を目的として、月 2 回の茶話会を基本の活動としています。茶話会ではメンバー同士の病気を持って生きる辛さを分かち合ったり、年金、病院等、お互いの情報交換をしたり、人生経験の豊富なボランティアからの生活上の話の聞いたりしています。メンバーは比較的若く、ボランティアは皆、60 歳以上なので親子の確執について、又、親の気持ち、子の気持ちをお互い聞く場にもなっています。

その他、電車に乗って外出できなかつたり、切符の買い方が分からなかつたりする方々の練習のための外出プログラムを行っています。

お一人暮らしで料理が出来ない方も多く、調理実習をしたりして生活が楽しくなるよう目指しています。これらの活動を通して、無理をせず、少しずつ社会参加ができるようになり、その生活も少しずつ豊かなものに変化していくことを期待しています。また、私たち、地域と共に暮らす者も彼らやその病気を通して、障がいのことやその生き方を学んでいきたいと思っています。障がい者や病気の方々だけでなく、健常者を含めて皆が夫々、自分らしく生きることができる地域社会となることを目指します。

(2) 活動概要

活動は主に志木市いろは遊学館において月二回の茶話会を行っています。

基本的に平成 22 年度は第 2 火曜日 13 時半からと第 3 土曜日 10 時から、平成 23 年度からは第 2 火曜日と第 4 土曜日に約 2 時間ほど行っています。

就労支援事業所に通う方々も参加できるようにと土曜日に敢えて開いています。

平成 22 年 9 月から平成 23 年 9 月までの活動状況は以下の通りです。

茶話会

曜日	回数	ボランティア	メンバー
火曜日	16	67	73
土曜日	16	64	68
計	32	131	141

外出

平成11月20日 新宿御苑散策

ボランティア5名

メンバー5名

家族 1名



紅葉にはまだでしたが、電車を乗り継ぎ、新宿を換をし、昼食を御苑内のレストランでしました。

これまで、電車に乗って出かけられなかった方もいらしたり、切符の買い方がわからなかったりした方もいました。ご家族の方が他のメンバーと話合うことも出来、有意義な一時を過ごしました。

平成23年2月8日 ロッテ浦和工場見学

ボランティア4名

メンバー9名

家族 1名

工場を予約

電車を乗り継ぎ、工場へ到着。



説明の後、工場内を見学、コアラのマーチの出来たてを頂戴しました。

工場見学が初めての方が多く、皆、興奮気味でした。

その後、近くのサイゼリアでパーティーセットを頂きました。このような形態の食事をしてみるとメンバーの以外な面も見えてきました。

平成23年7月26日江戸東京博物館見学

ボランティア5名

メンバー4名

家族 1名

少し遠くでしたが、電車で行き、江戸東京博物館ではボランティアの説明を受けながら江戸の暮らしを勉強しました。

その後、駅側でちゃんこ鍋を頂きました。

皆、時間が足りなかったようです。両国の駅からスカイツリーが大きく見えました。

調理

いろは遊学館調理室にて

平成22年12月14日 ちらし寿司、おすまし、クレープ

クリスマス会も兼ねて調理実習をしました。
調理中には、調理をしなれていない方が多くやはりハプニングの連続でしたが何とか美味しく皆で試食しました。

ボランティア 5名

メンバー 9名

平成23年4月12日 ドライカレー、桜もち

前回の反省を踏まえて、調理前のボランティアの打ち合わせをしました。
桜もちがわりあい簡単に作れて大好評でした。

ボランティア5名

メンバー 7名

平成23年8月27日 海鮮チジミ

全員チジミをつくるのは初めてで、形はぐちゃぐちゃになりましたが、味は格別でした。
ボランティアに依る「どじょうすくい」の余興がありました。

ボランティア 4名

メンバー 4名



その他の活動

いろは遊学館利用者の会 6回

埼玉ネット 1回

埼玉ネット西部ブロック会 5回

チラシ配り 3か月に一回

志木市社協便り 平成23年9月号に我々「ゆうあい」が紹介されました。

ゆうあい

開催日 毎月第2火曜日 13:00~15:00
 第4土曜日 10:00~12:00

場 所 いろは遊学館など

参加費 1回50円

主な活動内容

月2回茶話会をして皆さんとお話をしながら交流しています。茶話会の他に、調理をしながら交流をする調理実習や散策、工場見学などを実施しています。

メッセージ

私たちボランティア・グループ「ゆうあい」は、心の病の方々や引きこもっている方々とお茶を飲みながら、安心して世間話やお互いの不安、心配事を話したりする場を作りたいと思っています。もちろん、聴いているだけでも結構です。途中から参加して、途中で退席していただいても構いません。それぞれの体調に合わせて参加してください。



(4) 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成	100,000-
支出	事業支出	116,214-
ゆうあい負担		16,214-

経費使途明細

茶話会施設利用料（公民館使用料）	5,800-
茶話会お茶、菓子等	4,065-
外出時3回（入館料、交通費、食事等）	44,380-
調理実習3回（材料費）	10,195-
関連団体会費	7,000-
交通費（ボランティア、会議等）	35,580-
事務費、雑費（印刷、トレイ、文房具等）	9,194-
経費合計	116,214-

(5) 今後に向けて

この1年活動を続けて、始めはNPO志木市精神保健福祉をすすめる会のメンバーばかりでしたが、ポツポツとチラシを見て来て下さる方々が増えてきました。すすめる会のメンバーはすでに色々な場を利用している方々ですが、チラシを見て来て下さる方々は本当にそれまでどこにも出かけられなかった方も多く、やっとの思いで来て下さっているのです。私達も丁寧に対応しようと心がけています。

しかし、メンバーは社会に慣れていず、お互いのコミュニケーションの取り方、距離感が難しく、時々トラブルが発生するのも事実です。

ボランティアもこの狭い地域に暮らしているので、活動時間以外にもメンバーと出会う場面も多く、日常生活とボランティア活動との線の引き方に苦慮しています。これらの経験を通して、お互いの関係性の持ち方を思考錯誤している状況であり、これから専門の先生方からもアドバイスを受けながら活動を少しでも長続きのするようしていきたいと考えています。

又、ご家族の方々からお話をお聞きする場を設けて、私達の精神病への理解を深めると共に、来て下さっているメンバーの日常生活を知ると共に、状態、外出時の緊張度を知る手掛かりを得、ボランティア、メンバー、家族がお互いに情報を交換出来る場を作りたいと考えています。

地域の関連団体とも連携をとりつつ、その関係を強化していきたいと願っています。